



＜with コロナの時代を支える社会貢献セミナー＞ 2020/12/21 開催



ご登壇者プロフィール

**【講師】**

**神野直彦氏（日本社会事業大学学長／東京大学名誉教授）**

＜プロフィール＞

1946年埼玉県生まれ。大阪市立大学経済学部助教授、東京大学大学院経済学研究科・経済学教授、関西学院大学人間福祉学部教授、地方財政審議会会長などを経て、現在日本社会事業大学学長・東京大学名誉教授。著書に『「分かち合い」の経済学』『経済学は悲しみを分かち合うために：私の原点』等多数。

**【コーディネーター】**

**長澤恵美子氏（一般社団法人日本経済団体連合会 SDGs 本部統括主幹）**

＜プロフィール＞

1983年、経団連事務局入局。96年から企業の社会貢献活動の推進を担当。03年からは企業の社会的責任(CSR)の推進も担当し、ISOにおける社会的責任の規格づくりに参加する経済界代表をサポート。09年研修や出版などの事業を行う経団連事業サービスに出向。17年4月から現職。企業行動憲章の改定を担当するとともに、企業によるSDGsの推進を担当。

**【パネリスト】（順不同）**

＜企業の社会貢献事例 2社＞

コロナ禍での社会貢献に関して、成果をあげた工夫や、多様なアイデア実現の経緯等について伺います。

・阿部孝宏氏（三菱電機株式会社 総務部 社会貢献推進課）

法人寄付、自社製品の無償提供、医療用マスクやフェイスガードの寄付など様々な支援を実施。中でも、「従業員募金＋法人マッチング寄付」のさきがけとして28年にわたり実施されてきた三菱電機SOCIO-ROOTS基金では、総額1千万円以上の募金が寄せられました。

＜プロフィール＞

技術部門において約30年勤務の後、2018年より社会貢献部門において従業員募金・情報発信・海外財団窓口を担当。事業部門時代の経験を踏まえ、同社グループのさまざまな職場で働く社員に対し、社会貢献活動についての理解促進に努めている。

・濱田尚氏（日本たばこ産業株式会社 サステナビリティマネジメント部）

コロナ禍で居場所を失った人たちへの支援活動へ、法人寄付、社員募金＋マッチング寄付、飲食物の寄贈など、さまざまなリソースによりご支援いただいています。

＜プロフィール＞

大手広告代理店にてプロデュース業を経たのち、日本たばこ産業株式会社にて現職。被災地の緊急支援、復旧・復興支援を含む防災・減災領域にて国内外の支援を主に担当。現在はJTグループのサステナビリティマネジメントの一環としてのコミュニティインベストメントを推進。

## <活動団体（助成事業）の事例 2団体>

「居場所を失った人への緊急活動応援」の助成活動報告を中心に、赤い羽根福祉基金の助成活動や日々の取り組みを通して実感する、コロナ禍での社会課題と必要な支援などについて伺います。

### ・奥田知志氏（認定 NPO 法人抱樸 理事長）

困窮や孤立状態にある方へ、衣食住の提供、自立支援、社会的処遇の改善、地域生活の安定等に関する支援事業を行い、共に生きる社会を創造することを目的としています。

#### <プロフィール>

奥田 知志（おくだ ともし） NPO 法人抱樸理事長、東八幡キリスト教会牧師  
1963 年生まれ。関西学院神学部修士課程、西南学院大学神学部専攻科をそれぞれ卒業。  
九州大学大学院博士課程後期単位取得。1990 年、東八幡キリスト教会牧師として赴任。  
同時に、学生時代から始めた「ホームレス支援」に北九州でも参加。事務局長等を経て  
北九州ホームレス支援機構（現 抱樸）の理事長に就任。

これまでに 3400 人(2020 年 3 月現在)以上のホームレスの人々の自立を支援。

### ・仁藤夢乃氏（一般社団法人 Colabo 代表）

困難を抱える少女たちが暴力を受けたり、搾取労働に行きつかなくてよい社会をめざして、繁華街での居場所提供やアウトリーチ活動、相談、シェルターなどの支援活動を行っています。

#### <プロフィール>

1989 年生まれ。中高時代に街をさまよう生活を送った経験から、10 代女性を支える活動を行っている 夜の街でのアウトリーチ、シェルターでの保護や宿泊 支援、シェアハウスでの住まいの提供など。主な著書に『難民高校生－絶望社会を生き抜く「私たち」のリアル』（英治出版、ちくま文庫）、『女子高生の裏社会 「関係性の貧困」に生きる少女たち』（光文社新書）。